

わき汗、手汗、ワキガについて



お答え
たなかクリニック
田中伸吾 院長

■プロフィール 平成15年川崎医科大学卒業。平成15年川崎医科大学附属病院形成外科医。平成17年公立三豊総合病院形成外科医。平成24年福山市市民病院形成外科科長。平成27年川崎医科大学附属病院皮膚科医。平成29年医療法人広蔵会「たなかクリニック」開設。日本形成外科学会専門医。日本皮膚科学会、日本美容外科学会所属
(メモ) ☎084(999)0155 たなかクリニック (駅家町上山守450-5) <http://prs-tanaka.com>

わき汗、手汗、ワキガについて「たなかクリニック」の田中伸吾院長に聞きました。

Q 最近相談が増えているという、汗の増加に関する疾患について教えてください。

A 多くの人が悩まれている汗に関する疾患。汗が増加する疾患のこと

を多汗症(たかんしょう)といい、全身に汗が増加する全身性多汗症と、体の一部に汗が増える局所性多汗症があります。今回は、局所性多汗症(わき汗、手汗)についてお話しします。

Q どのような症状が現れますか。

A 局所多汗症は原因の分らない原発性と、外傷や腫瘍などの神経障害による局所性多汗症があります。原発性多汗症は手のひらや脇という限ら

れた場所に、両側に過剰な発汗を認める疾患です。

原因としては、またはつきりと分っていませんが、発汗を促す交感神経が興奮しやすいのではないかとわれています。また、家族内で同様の症状を認めることもあるた

め、遺伝の可能性が、ともいわれています。症状は幼少期から思春期ごろに発症、手のひらや脇などに精神的緊張により多量の発汗が見られます。昼間に汗が多く、睡眠中の発汗は停止します。

20年に画期的な外用薬(坑コリン作用)が登場しました。

わき汗に対しては、エクロックゲルとラビフォートワイプという外用薬で、交感神経から伝えられる汗を出す信号をブロックして発汗を抑える効果があります。

手汗に対しては、同様の機序で作用するアポハイドローションがあります。これらの治療薬以外では、内服液やボトックス注射、胸腔鏡下胸部交感神経遮断術という手術療法があります。

の汗の分泌が多くなり、それが皮膚の表面の細菌によって分解されて臭うといわれています。治療法は多汗症の場合と異なり、先述した外用薬などでは効果が無く、わきを常に清潔に保つことがまず必要になります。

ワキガについては保険適用の治療があまり無いのですが、自費でマイク口波を用いた機器による治療が受けられ、これは腋窩多汗症にも適応があります。どのような施術を行っているかどうか、どんな症状に悩んでいるか、まずは専門医に問い合わせてみられると良いでしょう。

Q 治療はどのように行いますか。

A 治療法として20

Q ワキガについても教えてください。

A ワキガ(腋臭症)は、アポクリン汗腺から